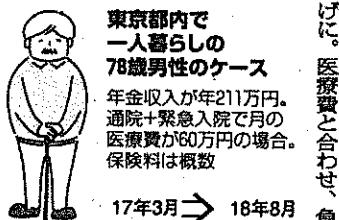


9/18 朝日

膨らみ続ける医療や介護の費用

高齢者に迫る「大負担増時代」

編集委員 清川 卓史



東京都内で 一人暮らしの 78歳男性のケース

年金収入が年211万円。
通院+緊急入院で月の
医療費が60万円の場合。
保険料は概数

17年3月 → 18年8月

医療保険料
月額 18年度に
改定予定だが、
現在の割率が
統一と仮定

医療費の
自己負担額
月額

4万4400円 → 5万7600円

1万3200円増

月の合計額

4万9417円 → 6万4808円

計1万5391円の負担増

高齢者の負担増は、医療
や介護で今年度から来年度
にかけて段階的に進んでい
く。今回の制度見直しがほ
ぼ実施される来年8月時点
の負担は、今年3月時点と
比べてどうなるのか。

東京都内で一人暮らし、
年金収入が年211万円あ
る78歳の男性。こんなモテ
ルを想定してみる。

持病があつて通院を繰り
返し、さらに急病で入院。

医療費が年60万円かかった
とする。自己負担割合は1

割だが、「高額介護費」の
制度で負担する月額の上限

は決まっている。この男性の所
得と年齢では、今年8

月に4万4400円から5
万7600円に上がった。

75歳以上が対象の後期高
齢者医療制度の保険料も中
程度の所得層で段階的に上
がっている。この男性の所
得は今月2千円以上の値上
げに。医療費と合わせ、負
て試算した結果だ。いすれ

相月額は計1万5千円以上
となる計算だ。医療だけでなく、介護の
負担も増す。

次に、年金収入が年29
万円で82歳の夫と年80万
円で80歳の妻の夫婦世帯の

夫は訪問介護や通所介護

などのサービスを月25万円

分利用。自己負担割合は2

割だが、「高額介護サービ
ス費」で月額に上限があ

る。この上限も今年8月に

見直され、この夫の所得な

がら3万7千円から4万

4千円に上昇した。

妻はこの月、体調を崩し

て複数の病院に通い、20万

円の医療費がかかった。

自己負担の月額上限は1万2

千円から段階的に1万8千

円になる。夫婦では、合計

約1万3千円の負担増だ。

これらは社会保険労務士

制度変更月1万円余り増も

NEWS

65歳以上の高齢者人口が推計で3500万人を超えた。医療や介護とい
た社会保障制度は見直しが迫られ、支払い能力に応じて高齢者にも負担を求
める流れが続く。さあさまに負担が積み重なる「大負担増時代」を迎え、高
齢者の家計はどんな影響を受けるのか。丁寧な検証が欠かせない。

その影響は、専門家でもじ
えにくい。特に年金から天
引される社会保障料は上
がり続け、手取りの生活費
が減る。将来の負担が見
えず、不安が広がってしま
う」と指摘する。

負担感は社会保障以外に
も広がる。消費税率引き
上げの途上だ。水道料金は
相月額は計1万5千円以上
となる計算だ。医療だけでなく、介護の
負担も増す。

次に、年金収入が年29
万円で82歳の夫と年80万
円で80歳の妻の夫婦世帯の
夫は訪問介護や通所介護

などのサービスを月25万円
分利用。自己負担割合は2
割だが、「高額介護サービ
ス費」で月額に上限があ

る。この上限も今年8月に
見直され、この夫の所得な
がら3万7千円から4万
4千円に上昇した。

妻はこの月、体調を崩し
て複数の病院に通い、20万
円の医療費がかかった。

自己負担の月額上限は1万2

千円から段階的に1万8千

円になる。夫婦では、合計

約1万3千円の負担増だ。

これらは社会保険労務士

中間所得層にも拡大

東海地方の50代の女性

は、要介護5の認知症の母

親の介護のため仕事に就い

ていなかった。母親の医療

料は滞納。子宮肉腫の受診

が遅れ亡くなつた。

今年5月には国会で、介

護の2割負担の影響分析を

求めた付帯決議がなされ

た。介護にとどめ、制度
による繰り引きも含め、負担
増の影響を専門に検証する

常設組織を設けてもよい。

その上で、まず障害福祉

や保育も含めた社会保障の

自ら負担額に上限を設け

してはどうか。消費増税に

伴い検討され、立ち消えに

16年の「経済的事由による
手遅れ死亡事例調査」に記
された事例の一つだ。

介護保険料滞納のペナル

ティーとして自己負担割合

が1割から3割になった人

は15年度で1万人を超す。

社会保障の安否網からこぼ

れ落ちる事例は今後、中間

層にも広がりかねない。

政府は13年、年齢を問わ

ない「能力に応じた負担」

の理念を明確に打ち出し

た。この理念に基づく制度

見直しの影響が顕在化し始

めた今こそ、その痛みの検

証も真剣に考えるときだ。

それでは、それがどう

なるか。

多額負担が避けられない

時代だからこそ、こうした

組みの一つとなる。

それでも苦境に追いや

れる人は出てくる。「最後

の安否網」である生活保護

は、より柔軟に利用しやす

くなるべきだ。

不安は抑えられない。